



伊豆新聞本社
伊東市鎌田1290-6
〒414-0054

電話 0557(36)1234
FAX 0557(36)3969 編集
FAX 0557(36)2691 営業
伊豆新聞デジタル
<https://digital.izu-np.co.jp>

「地元福祉」を実践学習

伊東市立対島中の1年生は本年度、総合的な学習の一環で「対島地区の福祉」を学んでいる。通年で福祉現場で働くプロの講演会や車椅子とアイマスクの体験、施設訪問、認知症勉強会などに取り組み、生徒自身の立場で「今、できること」を実践的に掘り下げる。



ゆうゆうの里の藤原・生活サービス課長(右)と対話しながら福祉を考える生徒たち=伊東市の対島中

対島中1年 職員講話や施設訪問…

「今できることから始めて」

第1弾で13日、八幡野の介護付き有料老人ホーム・伊豆高原ゆうゆうの里から生活サービス課の藤原裕美さんを招いた「福祉ってなんだろう?」講座を体育館で開いた。藤原さんは生徒69人を前にスライドで福祉の専門職の仕事内容や、役割を紹介。「悩んでいる友達に声を掛けたり、困った人を助けたりする日常生活の何気ない行動も、実は福祉になっている」と説明した。学校や家庭にある福祉を皆で考える時間もあり、生徒は「校内には(車椅子用の)携帯スロープがある」「募金活動も福祉につながる」と答えた。藤原さんは「福祉は『ふ』だん『く』らしの『し』だあわせの上に成り立っ

ている」と語った上で「幸せをつくるのはみんな。まずは身近で、

やれることから始めよう」と呼び掛けた。普段から洗濯や食事の準備を積極的にしているという山本聖さんは「小さな積み重ねが大切と改めて気付いた。福祉の世界に興味を持ったと話した。